

令和四年四月度 入賞句一覧

投句数

九百七十六 句

名和 よちゑ 選

特選

かあさんとこぼれるぐらいつくしとり

つくしは日当たりの良い土手や、畦道に頭を出します。土から生えて、筆のような形なのでこの名があります。出たてのやわらかいうちに摘んで、和え物や酢の物、佃煮にして食べます。一本見つけると次から次へと目に入ります。おかあさんと一緒に手からこぼれるくらい取りました。とても楽しい時間でしたね。卵とじもおいしいですね。

たんぽぽのかさにしづくがのつてるよ

大垣市 たち みなど（小三）

たんぽぽは、道端や野原に多く見られ、茎を長く伸ばして、黄色い無数の小さな花をつけます。少し前まで雨がふつていていたのでしょうか。たんぽぽの花を傘に見たて、その傘の上にしづくが乗っています。足を止めてしまふかりと観察をしないと気づきません。大発見でしたね。

登校は鳥のさえずり生きながら

大垣市 丸本 優咲（小六）

さえずりが春の季語です。寒い冬が終わり、春になると山野や都会を問わず、さまざまな鳥のさえずりを聞くことができます。新学期が始まり、さえずりを聞きながら登校です。自然に恵まれた気持ちの良い一日のスタートですね。生き生きとしていてとても素直な句になります。

秀逸

風光る私も共にあの空へ

加茂郡川辺町 渡辺 かずは（中二）

シャボン玉風をつかんとおくまで

加茂郡川辺町 藤井 結乃（中二）

さくらの木へんなどこからさいてきた

大垣市 松岡 杏奈（小二）

船下り手をふる人のあたたかさ

各務原市 小森 俊太朗（小三）

はるのにじゅうひかさなりきれいだな

大垣市 宮森 叶多（小四）

つくしとるはちほんとつてたべました

大垣市 陸田 篤希（小四）

やかたぶね桜の中にうかんでる

大垣市 生駒 剣空（小六）

風光り河原の小石が光つてる

大場 孝太郎（小六）

さんぽ中リュックはみでる風車

大嶋 蒼乃（小六）

幸谷 葵（小六）

入選

名古屋行く話ふくらむ春休み

新学年登校一番クラス替え

ゆれる舟どこもかしこも花の川

はるかぜがわたしのほっぺをさすつたよ

つくしほね食べるとすぐくにがかつた

たんぽぼがこんなところにさいていた

さくらんぼあかいビーダマふたつある

船下り桜がきれいな赤い橋

妹の髪に飾つた可愛い桜

さくらのねいのちのつよさかんじるね

はるの月きれいに川にうつつてる

春の色あまくとろけるひなあられ

夜の空ぼんやり光るおぼろ月

弟とつづじの花のみつすつた

おひなさん三月四日後ろむき

青空が桜とかさなりむらさきに

すずめの子庭をつつつくつんつんと

入学式どんな一年生くるのかな

しゃぼん玉とおくへいつてわれちゃつた

春の山でれてすてきなピンク色

小中学生の部

加茂郡川辺町

川崎 愛心（中二）

太田 陽希（小四）

大垣市 杉山 柚月（小三）

大垣市 奥村 栄希（小三）

大垣市 西科 とも生（小三）

大垣市 近内 海風（小三）

各務原市 小森 俊太朗（小三）

大垣市 田中 心彩（中二）

不破郡関ヶ原町 谷口 暖（中三）

大垣市 大辻 あいな（小四）

大垣市 富田 梨央（小四）

大垣市 前田 瑞実（小四）

大垣市 難波田 柚依（小六）

川瀬 真穂（小六）

大垣市 新居 茜音（小六）

大垣市 大橋 一路（小六）

大垣市 古澤 壮真（小四）

大垣市 大橋 万葉（小四）

河合 想乃香（小六）

選者吟

花菜畠猫車より鳴るラヂオ

名和 よちゑ

